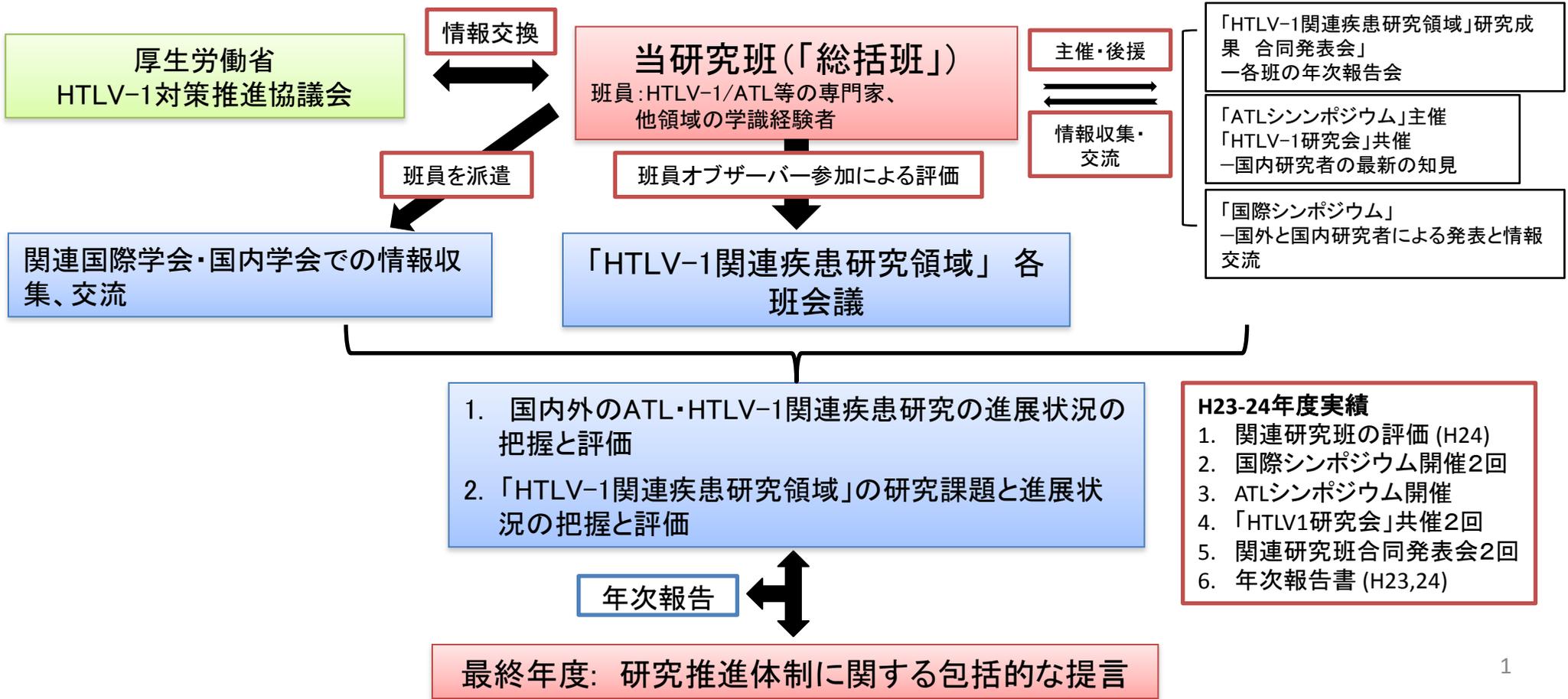


目的

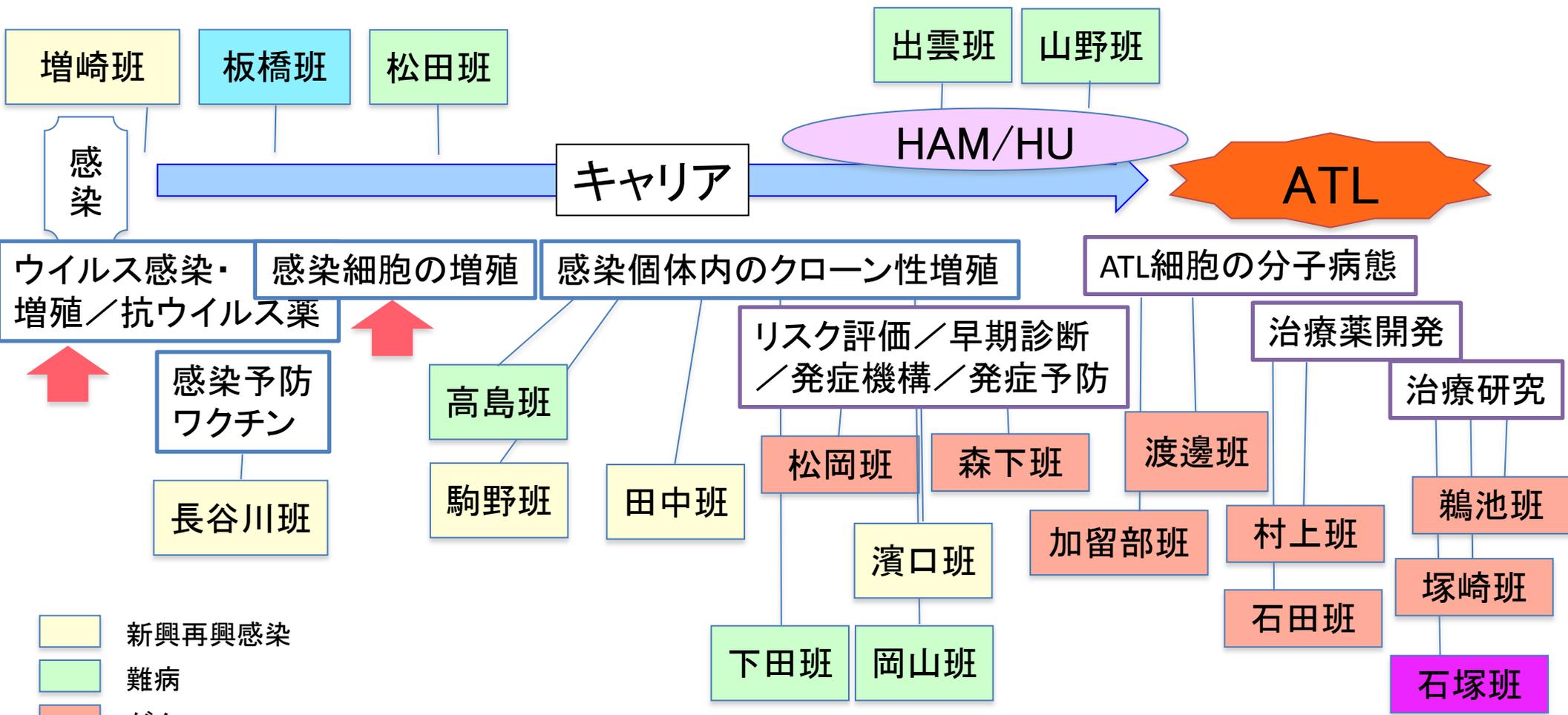
「HTLV-1感染で発症するATLについて、感染予防、発症予防、新規治療法開発の観点から研究推進の現状と問題点を把握して評価し、「医療行政」と「関連疾患研究」の適正な推進に向けた提言をする」

方法

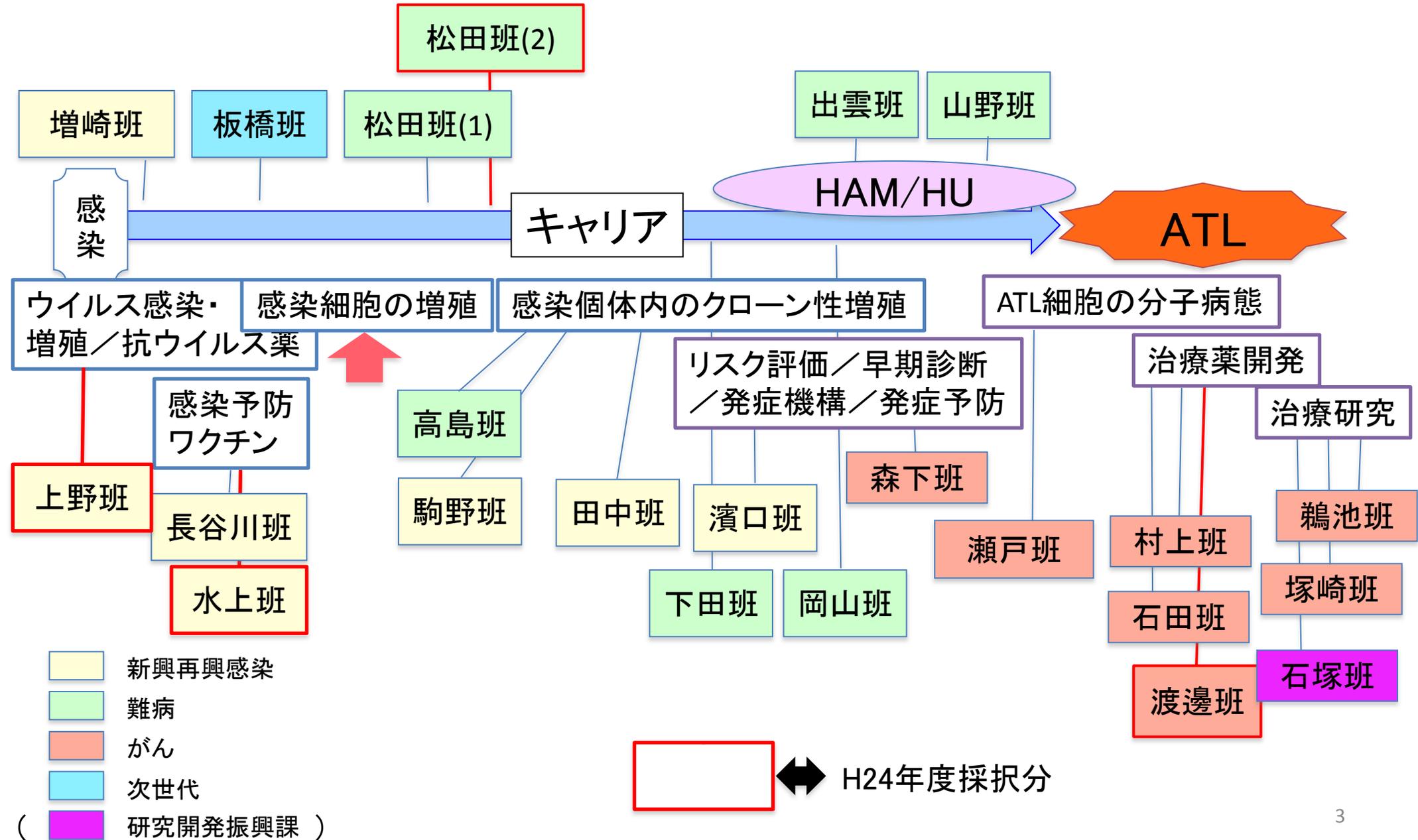
- 「HTLV-1関連疾患研究領域」研究班の評価
- 「HTLV-1関連疾患研究領域 合同班会議」の開催
- 「シンポジウム」開催や当該領域の研究会の開催支援
- 関係学会・研究会における発表内容の調査
- 国際シンポジウムの開催と国外での研究進展状況の調査
- 年2回の班会議の開催



厚生労働科学研究費におけるATL関連研究班のマッピング(H23年度)



厚生労働科学研究費におけるATL関連研究班のマッピング (H24年度)



HTLV-1感染症克服への取り組みの現状と課題

実態把握

- HTLV-1のキャリアやHAMの疫学調査

病態の解明

- ATLのがん幹細胞の特性の解析
- ATL-HAM発症に関与する遺伝子多型の解析

感染予防・相談指導法の開発

- 母子感染予防保険指導マニュアルの作成
- HTLV-1感染予防法の開発
- 母子感染に関するコホート研究

診断・検査法の開発

- HTLV-1のPCR検査法に関する検討
- HAMの早期診断や病態把握のバイオマーカーの開発

治療法の開発

- ATLに対する新規治療法の開発
- HAMに対する新規治療法の開発
- 診療マニュアル/ガイドラインの作成

研究の成果

- 疫学調査によりキャリアの20%はハイリスク群と判明した
- 検査法の開発・標準化が確立し、ハイリスク群の選別が可能となった
- 妊婦検査強化と母子感染防止対策を推進した
- 有効な新規治療薬の開発・臨床試験を推進した

あらたな研究課題

- ATL・HAM発症予備軍(ハイリスク群)への対応
- JSPFAD等検体バンクへの登録と臨床疫学調査
 - ATL・HAM発症メカニズムの基礎研究
 - 予後診断のバイオマーカーの開発
 - ATL・HAMの臨床病態の解明
 - 新規治療・発症予防薬の開発

低リスク無症候キャリアへの対応

- 検査・予後診断体制の拡充
- 感染経路・感染メカニズムの解明
- 感染予防法・指導法の開発

期待される成果

発症予防介入と早期治療

感染症の正確な情報発信と偏見の払拭